キャベツ(野菜類、	結球:	アブ	ラナ	1科	葉菜	類の	登鐘	录農	薬も	使月	月で	きる)					
	作	人	使	使	使	~	苗	菌	灰	黒	黒	株	F,	根	黒	軟	黒	根
	用 機		用						色				シ				斑	
	構	畜	時期	用	用		立				す		ウ	Č			24	
薬剤名	分		朔			と		核	カュ	斑		腐	ム		腐	腐	細	朽
	類コ	毒		回	条		枯		び		す		腐	ぶ			-112	
	ì		数						O.				敗				菌	
	K	性	<u> </u>	数	件	病	病	病	病	病	病	病	病	病	病	病	病	病
ドイツボルドーA水	M1		-	_											0		0	
Ζボルド一水	M1		-	-		0									0	0	0	
マスタピース水	NC		1	_											0	0	0	
タチガレン液	32		*h	3									0					
スターナ水	31		7	3												0	0	
トップジンM水倒	1		3	2				0				0						0
ベンレート水〇	1		7	6		0		0									\vdash	0
エトフィンFL アフェットFL	22 7		1	3		0		0	0			0					\vdash	0
カンタスDF	7		7	2				0	0	0		0						0
ケンジャFL	7		1	3				0		0		0						
			* j	1	☆		(R)	0										0
パレード20FL	7		1	3				0				0						0
モンカットファイン粉 剤20DL	7		*g	2			®											
モンカットFL40	7		7	4								0						
カナメFL	7	劇	1	3				0				0						
アミスター20FL	11		7	4				0		0		0						
ファンタジスタ顆水	11		3	3				0	0	0		0						0
メジャーFL	11		3	3		0		0				0	0					
オラクル顆水	21		*c	2	☆									0				
オラクル粉	21		*b	2										0				
ライメイFL	21		7	4		0												
			3	4		0							0					
ランマンFL	21		14	1										0				
			*f	1	☆									0			\vdash	<u> </u>
フロンサイドSC	29		*b	*e			R	0				0		0				
フロンサイド粉	29		*b	*e			®	0						0				
セイビアーFL20	12		1	3				0				0						
スミレックス水	2		14	4				0										
ロブラール水	2		7	4				0				0						
リゾレックス水	14		7	3								0						
オンリーワンFL	3		1	3				0									\vdash	-
ベジターボDF	19		14	3								0						
ポリオキシンAL溶	19		*d	3				0			0							
フェスティバル水	40		1	3		0												
レーバスFL	40		7	3		0												
オリゼメート顆水	P2		*i	1	☆										0		0	
ネビジン粉	36		*b *c	2				0						0				
ネビリュウ粉粒	36		*b	2				_						0				

キャベツ(野菜類						類の		录農	薬も			きる						
	作	人	使	使	使	1,	苗	菌	灰	黒	黒	株	ピ	根	黒	軟	黒	根
	用		用										シ				nter	
	機構	畜	時	用	用		立		色		す		ゥ	2			斑	
薬剤名	分	_	期	,	,	ځ		核	か	斑		腐	4		腐	腐	細	朽
*ATA	類	盡	_	1==1	12	_	枯	124	/3 .	2011	す	/[%]	腐腐	Š	////	/1/2]	ЛЧП	13
	=	#	日	回	条		仙		び		9		.,	2			菌	
	1		数										敗					
	ド	性)	数	件		病	病	病	病	病	病	病	病	病	病	病	病
ピシロックFL	U17		1	3		0							0					
バリダシン液5	U18		7	5								0			0	0		
キノンドーFL	M1		14	3											0			
ヨネポン水	M1		7	5		0									0	0		
ジマンダイセン水	M3		30	3		0												
ペンコゼブFL	М3		30	3		0												
ダコソイル粉	M5		*b	1										0				
ダコニール1000FL	M5		14	2		0												0
ベルクートFL	M7		28	3				0										
リドミルゴールドMZ 顆水	4·M3		30	3		0												
フォリオゴールドFL	4·M5		14	2		(0)							0					
カセット水	31.24		7	3											0	0	0	
ソタールWDG	31.14		7	3								0			_	0		
ナレート水	31·M1		14	3											0	0		
ゲッター水色	1.10		7	2				0								_		
ニマイバー水〇	1.10		7	3				0										
ダコレート水⊙	1·M5		14	2		0		0										0
シグナムWDG	7.11		7	2		0		0		0		0						
ベジセイバーFL	7·M5		14	2		0		0				0						
カスミンボルドー水	24·M1		7	4								_			0	0	0	
カスミンバリダシン液	24·U18		7	4												0		
ドーマイシン水	25·M1		14	2											0	_		
カーニバル水	40·M5		14	2		0												
プロポーズ顆水	40·M5		14	2		0												
フェスティバルC水	40·M1		1	3		0									0			
カンパネラ水 ベネセット水	40·M3		30	2		0									_			
			*c	2								0		0				\vdash
ネビモン粉	36 · 7		*g	2			(R)					9						\vdash
シトラーノFL	M1·M5		14	2		0	9								0			
	0					$\overline{}$						<u> </u>			\sim	<u> </u>		

⑤:チオファネートメチル含有剤 ⊙:ベノミル含有剤 ⑤を使用した場合には同じ作での⊙は使用しない ②・フィート・アントロード (種子のの処理および釜布処理を除く、詳細はP.856参照)。 *a:発病前~発病初期 *b:播種又は定植前・*c:定植前 *d:子葉展開期以

^{*}d:子葉展開期以降 *a: 発病前~発病初期 *b: 播種又 *e: 2回以内(苗床1回、本圃1回) *f:定植前日~当日 *g:播種時~定植前

^{*}j:育苗期後半~定植当日 *h:出芽時~育苗期 *i:定植時

^{®:}リゾクトニア菌による病害

^{☆:}セル成型育苗トレイまたはペーパーポットで育苗している苗に灌注処理する。

# 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	イヤハフ(野来類	, nu ~	,			/ 1	1/	<u> </u>	\J>		-11-	24()	147	-	J 1/2	_/ -	,	_	0/				
乗刹名			人	使	使	使	ア	ア	力	コ	ア	シ	Π	ハ	ウ	ネ	オ	ハ	キ	コ	コ		そ
乗剤名		作		Ħ					_w			口		_				1	ارا	Ħ			
機構							ザ	ブ				1	L	^		キ	オ				+		۵
薬剤名 (株) 切			畜	時	用	用			ラ		*	l '	1.	王	ワ				ジ	ネ	~		ľ
乗削名			==	期	713	/13	3	ラ	 		~	チ		_		リ	タ	ダ	ار ا	1.2		- 1	
類	薬剤名	分		791					ハ	ナ		モ	ウ	ン				ラ			口	粗	他
日 日 日 日 日 日 日 日 日 日			١	^			ゥ	A				37				A	バ	,	3	レシ		<u>.</u>	
ド 数			毒	В	口	条			バ		ム		,	3	バ			ľ,	$ \mathcal{A} $	粨	w		, to
除虫類乳3 3A 7 5 0 0 0 0 0 0 7 0 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		,		NET.			7	シ	4				A	L		シ	コ				17		吉
除虫菊乳3		F.		数								ㅏ		1.				イ		幼			
スピノエース顆水 5 3 3 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0			性)	数	件	類	類	類	ガ	シ	ゥ	シ	ウ	類	類	ガ	ガ	シ	虫	類	類	虫
TAマルクDF	除虫菊乳3	3A		7	5		0				0												
エコマスターBT	スピノエース顆水	5		3	3		0			0	0	0	0		マ			0					
ジャックポット顆水 11A *e - ネ ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○	エスマルクDF	11A		*e	_		ネ											0					
ぜンターリ顆水	エコマスターBT	11A		*e	_		ネ								0			0					
### ### ### ### ### ### ### ### ### ##	ジャックポット顆水	11A		*e	-								0	0									
プローバックDF	ゼンターリ顆水	11A		*e	_		ネ			0	0	0	0	0			0						
ボタニガードES乳 UNF	チューレックス顆水	11A		*e	_								0	0									
オリオン水40	フローバックDF	11A		*e	-		ネ								0			0					
デナポン5%ベイト粒 1A 14 3	ボタニガードES乳	UNF		*р	-						0												
まクロデナポン水85	オリオン水40	1 A	劇	7	4			0			0		0		7								
オルトラン枚	デナポン5%ベイト粒	1A		14	3									0		0					コ		ダ
オルトラン枚	ミクロデナポン水85	1 A	劇	21	3						0		0	0					П				
The following of th		1B		30	1		0	0		0	0			0	マ				П				
#d □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □		1 D		*m	1		_	0											П			\neg	
カルホス粉 1B *b 1	470トノン松	110		*d	1		0	0		0	0		0			0							
サイアノックス乳 1B 21 2 ◎ ◎ ◎ 万 若 マ 成	カルホス微粒F	1B	劇	*b	1											0							
ジェイエース溶 1B 30 1 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○		1B		*b												0							
ジェイエース粒 1B *d 1 ⑤ ⑥ ⑥ ⑥ ぶ ダイアジノン乳40 1B 劇 30 2 ⑥ ⑥ ⑥ ぶ ボ ダイアジノン乳40 1B 劇 30 2 ⑥ ⑥ ⑥ 少 グ	サイアノックス乳	1B		21	2			0		0	0		若		7				成				
ダイアジノン水34 1B 劇 30 2 ⑤ ⑥ ⑥ ⑥ ⑥ ⑥ ⑥ ⑥ ⑥ ボボイアジノン乳40 1B 劇 30 2 ⑥ ⑥ ⑥ ⑥ ⑥ ⑥ ⑥ ⑥ ⑥ ⑥ ⑥ ⑥ ⑥ ⑥ ⑥ ⑥ ⑥ ⑥ ⑥	ジェイエース溶	1B		30	1			0		0	0		0	0	7								
ダイアジノン乳40 1B 劇 30 2 ③ ③ ⑤ ⑤ ⑤ ⑥ ⑥ ⑥ ⑥ ⑥ ⑥ ⑥ ⑥ ⑥ ⑥ ⑥ ⑥ ⑥ ⑥ ⑥	ジェイエース粒	1B		*d	1			0		0	0		0										
#b 2	ダイアジノン水34	1B	劇	30	2			0		0	0								0				ボ
Y	ダイアジノン乳40	1B	劇	30				0		0	0								0				
30 2	33 3 - 33 - 11				_																		ケ
ネマキック粒剤 IB *r 1	タイアシノン粒 5	1B		_												0			Ш		Н		19
マラソン乳 1B 1 5 ◎ ◎ カ ◎ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	ラマキック約対	1 D				\vdash													\vdash	0	Н		=
プリンス粒* 2B				_	_	\vdash	0	0	山		0								\vdash	\vdash	Н		-
プリンス粒* 2B *Q *C *C *C *C *C *C *C	マソンン乳	TR	_		Ъ	\vdash	0	0	7/	0	0						_	0	\vdash	\vdash	\vdash		<u> </u>
アグロスリン水 3A 劇 7 5 ○ ○ ○ ○ ○ ○ マ アディオン乳 3A 割 7 5 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ □ ガードベイトA粒 3A *t 5 サイハロン乳 3A 劇 7 3 ○ ○ ○ ○ ○										_								,	H		H	\dashv	
ボロスリン水 3A 劇 7 5 〇 〇 〇 〇 〇 〇 マ	プリンス粒*	2B		_	1	Ť				9								~	\Box	П	Н		
アディオン乳 3A 3 5 © © © マ ガードベイトA粒 3A *t 5 © © サイハロン乳 3A 劇 7 3 © © ©				_		\Diamond				0								\sim					
ガードベイトA粒 3A *t 5 ○ サイハロン乳 3A 劇73 ○ ○	アグロスリン水	3A	劇	7	5		0	0		0	0		0		マ								
ガードベイトA粒 3A *t 5 ⑤ サイハロン乳 3A 劇 7 3 ⑥ ⑥	アディオン到	3.4						0		0	0		0		マ								
サイハロン乳 3A 劇 7 3 ◎ ◎ ◎ ◎				_		株										_			Щ	\vdash	Ш		
				_	-						_					0			Ш				
テルスター水 3A 21 4 ◎ ◎ ◎ ◎			劇					_		_	_												
	テルスター水	3A		21	4			0		0	0		0										

キャベツ(野菜類、結球アブラナ科葉菜類の登録農薬も使用できる)

キャベツ(野菜類	、結項	マ	゚ブ	ラ	ナオ	科美	宾茅	を粧	ĺΦ	登	録	農	東	5 傾	三月	で	き	る))			
			使					力	コ		シ	3				才			コ	コ	力	そ
	作		用								П						1	ス	ガ		タ	
	用 用		,			ザ	ブ	ブ			Ι.	١,	ス		キ	オ					ツ	_
	機	畜	時	Ш	用			ラ		オ	1	ト	モ	ヮ			マ	ジ	ネ	オ	ム	の
	構	田	期	л	т	3	ラ	_		4	チ				IJ	IJ	ダ	,	A		IJ	
薬剤名	分		291					ハ	ナ		モ	ゥ	ン		ľ		ラ			П	類	他
2.00.10	類		_			ゥ	A				ジ	ľ			A	バ	,	11	シ		١.	
	コ	毒	В	旦	条	ĺ		バ		Δ		١.	∃	バ			_	\sim	類	- 3	ナメ	
]					7	シ	チ			Ξ	A	1		シ	=	メ			ギ	ク	害
	ド		数					7			卜		1		ľ		イ	ム	幼		ジ	
		性		数	件	硩	類	類	ガ	シ	ゥ	シ	ゥ	類	類	ガ	ガ	シ	电	類	類	虫
トレボン乳	3A		3	3	<u> </u>	75.	0	723	0		Ĺ	0		791	///			Ė		791	77.	
トレボンMC	3A		3	3						0		0					0					
フォース粒	3A	劇	*d	1						_		Ť			0		_					
マブリック水20	3A	劇	14	-			0		0	0		0	0	マ	Ĭ						Н	
		851	*a	1	☆		0		_			Ĭ	_	Ė							Н	\vdash
アクタラ顆溶	4A		3	3			0															Т
			*i		♦				0													
	l			١.	*		0											П			Ш	
アクタラ粒 5	4A		*a	1	<u> </u>	_	0	<u> </u>		0	_	_				<u> </u>	0	Ш			Н	
			*Q	ł	⊢	_	0		0			H	_	_	H	_	0			_		
アドマイヤー1粒	4A	\vdash	*d	1	\vdash		0					\vdash			\vdash		0				H	\vdash
アドマイヤー 「根本	4A 4A	劇	*a	2	\vdash	-	0	\vdash				-			-	\vdash		H			Н	\vdash
	_	劇			⊢		0					-								_		
アドマイヤーFL アルバリン顆溶	4A	廖	7	2			0															
スタークル顆溶	4A		3 *f	1	☆		0		0	0					\vdash	\vdash	0				Н	H
アルバリン粒		Н	*d		M		0			0							0					\vdash
スタークル粒	4A		*m	1			Ŏ			_							_					
			*a			ネ	0		0	0					0		0					
					Δ	ネ	0			0							0					
ダントツ粒	4A		*d	1	L		0		0	0							0					
			*Q	-	abla	٠	0					-	_	_			0			_		
			*c	ł	⊢	ネネ	0													_		
ダントツ溶	4A	Н	3	2	\vdash		0		0	0		\vdash	_		\vdash					_		
モスピラン顆溶	4A	劇	7	5	\vdash	_	0	\vdash	_	0		\vdash			H	\vdash		0				
		1981	*d		\vdash	9	0			0		\vdash						9		_		\vdash
モスピラン粒	4A		*h	1	\vdash		0			0			0				0					Н
トランスフォームFL	4C	Т	1	3		ネ			_	_							_					
フィールドマストFL	4E	Т	1	2		Ė	_	0	0	0	0	0	0	0			0					モ
ディアナSC	5		*a	1	☆	0																
		L	1	2	Ľ	0	Ĺ	Ĺ		0		0	0	0			0					ハ
アニキ乳	6		3	3					_	0	0		0	0		0	0					
アファーム乳	6	Ĺ	1	3					0	0		0	0	マ			0					
マイキラー	8	劇	14	3																	0	
コルト顆水	9B	Ĺ	1	3		ネ	0	L			L	L				L		Ш			Ш	
コテツFL	13	劇	1	2	Ĺ	Ĺ	Ĺ	Ĺ	0	0	0	0	0	マ	Ĺ	0	0					Ĺ
パダンSG溶	14	劇	14	4			0		0	0							0				ナ	
リーフガード顆水	14	劇	7	3		0	0		0	0							0				ナ	
アタブロン乳	15		7	4					0	0		0	0	マ			0					
カウンター乳	15		7	3					0	0		0	0									
カスケード乳	15		7	2		0			0	0	0	0	0	7		0	0				П	
ノーモルト乳	15		7	2					_	0		0	_	マ							П	
マッチ乳	15	П	7	3	Г				0	0	Г	0	0		Г		0	П			П	Г
ロムダンFL	18		1	2						0	0	ŕ	0					П			П	
ファルコンFL	18	Н	7	2	\vdash		\vdash	\vdash	0	0	ľ	0	0	マ	Н	0	0	Н	H		Н	Н
マトリックFL	18	Н	7	4	\vdash			\vdash	0	0			0			ľ	0	H			H	Н
ハチハチFL	21A	劇	14	2	\vdash	(0)	0		0	0		\vdash	9	-	H	-	0				H	\vdash
トルネードエースDF	22A	88(1)	7	2	\vdash	9	9	\vdash	_	0	0	0	0	0	H	\vdash	0	H	Н	-	H	\vdash
ファイントリムDF	22A 22A	\vdash	7	2	\vdash	\vdash	\vdash	\vdash		0	0		0	0	\vdash	\vdash	0	Н	Н		Н	\vdash
アクセルFL		\vdash	1	3	\vdash	-	-	-	_	0	$^{\odot}$	_	0	0	\vdash		0				Н	
1 9 ENFL	22B		1	ن		<u> </u>			0	W		(9)	()	(0)		W	W	0			Ш	

オイ・・ノ(野来規	, The 200	1 >		/	/ 1	コラ	K7	マカシ	(V)	-57.	地(人)	17	*	צו כ	- /1.	, ~	C	0				
		人	使	使	使	ア	ア	力	コ	ア	シ	Ξ	ハ	ウ	ネ	オ	ハ	牛	П	コ		そ
	作		用					ブ			ㅁ		7				1	ス	ガ		タ	
	崩					ザ	ブ				1	ト	ス		牛	オ	マ		-	オ	ツ	の
	機	畜	時	用	用			ラ		オ	チ	l '	モ	ワ				ジ	ネ	~	ムリ	ľ
	構		期			111	ラ				ľ				IJ	タ	ダ	1	ム		類	l
薬剤名	分							ハ	ナ		モ	ウ	ン				ラ	_	5.	口	7,74	他
	類	毒		ы	条	ウ	Δ	バ		ム	ジ		3	バ	ム	バ	ノ	111	シ		ナ	
	コー	+4;	日	le:1	*			ľ `			3	A	J	ĺ `			メ	ハ	類	ギ	メ	害
	K		数			マ	シ	チ			<u>۱</u>		1		シ	コ	1	ム	幼	`	ク	-
	'	ļ.,,		stee	l.,												l '				ジ	١. ا
	0.00	性			件	類	類	類	ガ	シ	ウ	シ		類		ガ	ガ	シ	虫	類	類	虫
アクセルベイト粒	22B		7	3			_						0		0					0	\square	\vdash
モベントFL	23		7	3		0	0		-	_											Ш	
フェニックス顆水	28	_	1	3	ļ.,				0	0		0	0	0		0	0			Ш	Щ	\vdash
プリロッソ粒オメガ	0.0		*n	,	Δ	_	0		0	0						_	0			Н	Н	\vdash
フリロツン松オメカ	28		*0	1		00	0		0	0							00			\vdash	\vdash	\vdash
					•	0			0	0			0	0			0			\vdash	Н	
プレバソンFL 5	28		*n	1	☆			0	0	0		0	0		0		0					
			1	3	,			Ŭ	0	0			0	0	Ĭ	0	0					
プレバソン粒	28		*n	1	Δ				0	0							0					
			*0						0	0							0					Ш
ベネビアOD	28		1	3		0	0		0	0	\sim		0	_		0	0				Ш	Ш
ベリマークSC	28		*n	1	☆	0	0		0	0	0	0	0	0			0	0				Ш
ヨーバルFL	28		*n	1	☆	0	0		0	0			0		0		0					
4==DD	00		1	3		0	0		0	0	0	0	0	0		0	0	0		Н	Н	バ
ウララDF	29		1	2			0						0							Н	Н	\vdash
グレーシア乳	30		7	2		0			0	_	0	-	0	0		0	0			\vdash	Н	\vdash
ブロフレアSC	30	- Part	1	3					0	0	0	0	0	0		0	0			\vdash	Ш	\vdash
ファインセーブFL	34	劇	3	2		0			0	0											Ш	\vdash
プレオFL	UN		7	2		ネ			0	0	0	0	0	0		0	0					\vdash
ナメクリーン3	-		14	2																	0	
ナメトックスハウス	_		*u	6																	ナ	
キックオフ顆水	4A •		*f	1	☆	0	0		0	0		0	0				0					
	28		3	3			0		0	0		0	0			0	(0)			H	H	\vdash
ジュリボFL	4A •		*s		▲	ネ	0		0	0		0	0		0	9	0				Н	H
	28		*n	1	☆	ネ	0		0	0		0	0				0			П	П	
			*g		Ė	0	0		0	0		_					0					
ミネクトデュオ粒	4A •		*d	1		0	0		0	0							0					
1,	28		*1	1			0										0			Ш	Щ	Ш
アファームエクセラ	6 •	_	*Q						0						_		0			H	\vdash	\vdash
類水	15		7	3		ネ			0	0	0	0	0	マ		0	0					
アクセルキングFL	21A • 22B	劇	14	2		ネ	0		0	0		0	0	0		0	0					

- *: 商品により使用時期・使用量・適用害虫等の登録内容が異なる。
- ★:苗地床に全面土壌混和する。
- ☆:セル成型育苗トレイ又はペーパーポットで育苗している苗に灌注処理する。
- ▲:苗地床に灌注処理する。希釈濃度が☆の登録とは異なるので注意する。
- △:セル成型育苗トレイ又はペーパーポットの上から均一に散布する。
- ◇:セル成型育苗トレイ又はペーパーポットの床土に均一に混和する。
- ▼:セル成型育苗トレイ又はペーパーポットの覆土に均一に混和する。
- ◆:床十に混和する。
- ▽: 覆土後セル成型育苗トレイまたはペーパーポットの上から散布する。
- 株:株元灌注
- *a:育苗期後半 *b:播種時又は定植時 *c:地床育苗期 *d:定植時
- *e: 発牛初期(但し収穫前日まで) *f: 定植前日~定植時 *g: 播種覆土後~育苗期後半
- *h: 定植前日~定植当日 *i:播種前
- *k:播種時~定植前 *m:育苗期 *n:育苗期後半~定植当日
- *o:育苗期後半~定植時 *p:発生初期 *Q:播種時 *r:定植前
- *s:播種時~育苗期後半 *t:生育初期 *u:発生時

カ・カブラハバチ グ:ネグサレヤンチュウ ケ:ケラ コ:コオロギ タ:タネバエ ダ:ダンゴムシ テ:ネグサレセンチュウ及びテンサイシストセンチュウ ナ:ナメクジ類 ネ:ネギアザミウマ ハ:ハモグリバエ類 バ:バッタ類 ボ:キボシマルトビムシ マ:タマナギンウワバ モ:ナモグリバエ

若:若龄~中龄幼虫 成:成虫

キャベツ(野菜類、結球アブラナ科葉菜類の登録農薬も使用できる)

要洞	r 害虫発生消長	1月	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
病害	春まき 黒腐病 軟腐病 菌核病												
	夏まき 菌核病 黒腐病 軟腐病												
虫害	コナガ アオムシ (モンシロチョウ) ヨトウムシ アブラムシ類 オオタバコガ		+1\\ [-1-4										

作型 — ; 栽培期 — ; 収穫期 病害虫発生消長 — ; 発生期 — ; 発生盛期

病害虫名	防除時期	防除方法	参考事項
べと病	生育期	・発生を認めたら次の薬剤のいずれかを散布する。 ジマンダイセン水和剤 400~600倍 ダコニール1000(FL) 1000倍 プロポーズ顆粒水和剤 1000倍 ペンコゼブフロアブル	
	/ - /	500~600倍 リドミルゴールドMZ (顆水) ● 1000倍	●耐性菌を生じる恐れ があるので連用しない。
菌核病	生育期	スミレックス水和剤	に、気温が20℃前後で 曇雨天が続くと発生し やすい。
		トップジンM水和剤 ラ 1000~1500倍	ないこと。その逆も同様(種子への処理および塗布処理を除く、詳細はP.856参照)

病害虫名	防除時期	防除方法	参考事項
病害虫名根こぶ病	防除時期 定植前	防除方法 1. 常発地ではアブラナ科以外の作物との輪作を心がける。 2. 畑の排水を良好にするか、または高畦栽培とする。 3. 石灰施用により土壌酸度を矯正する。 4. 苗畑は無病地に設けるか土壌消毒した用土でセル育苗を行う。 5. 定植直前に次の薬剤のいずれかを土壌混和する。 オラクル粉剤全面処理 30kg/10 a作条処理 20kg/10 a ネビジン粉剤全面処理 20kg/10 a アンサイド粉剤全面処理 20kg/10 a 作条処理 15~20kg/10 a 作条処理 15~20kg/10 a で条処理 15~20kg/10 a でを処理 15~20kg/10 a でを処理 5~20kg/10 a でを必要 5~20kg/10 a でを必要 5~20kg/10 a でを必要 5~20kg/10 a でを使かしている。 5~20kg/10 a でをかしている。 5~20kg	各種というでは、 を発生し、コンではいる。 を発生し、コンではいる。 を発生したが、 を発生したが、 をいるでは、 をいるがでは、 ではないがでした。 ではながれる。 ではながれる。 ではながれる。 ではながれる。 ではながまれる。 をはながながまれる。 をはながながまれる。 をはながながまれる。 をはながながまれる。 をはながながまれる。 ではないが、 でいが、 でいがが、 でいがが、 でいが、 でいが、 でいがが、 でいが、 で
	生育期および収穫後	・発病株は根、特にこぶを残さないように早めに処分する。また収穫後のできませいというし、	
黒腐病	播種前	畑にすきこまないようにする。・高畝にするなど、圃場、苗床の 排水を良好にする。	5月及び9~10月頃 に気温が低く、多雨の
	生育期	 発生を認めたら初期に次の薬剤のいずれかを散布する。カスミンボルドー(水) 1000倍カセット水和剤 1000倍キノンドーフロアブル800~1000倍ナレート水和剤 800倍Zボルドー(水) 500~1000倍 	とき発生しやすい。 台風など強風雨により茎葉に傷がつくと多 発しやすい。
軟腐病	播種前 生育期	 低湿地での栽培をさけ、排水を良好にする。 ・台風や大雨の後、及び結球初期に、次の薬剤のいずれかを散布する。 カスミンボルドー(水) 1000倍カセット水和剤 1000倍ナレート水和剤 800~1000倍Zボルドー(水) 500~1000倍 	病原細菌は風雨や害 虫によって生じた傷口 などから侵入する。 夏〜秋にかけて高温 のとき発生しやすい。

病害虫名	防除時期		参考事項
苗立枯病	播種前	1. 過密な播種を避け、苗床の過湿	
H - 111/11	1田(五山)	に注意する。	ア菌またはピシウム菌
		2. 土壌消毒を行う(土壌消毒の項参	による。
		照)。	
萎黄病	播種前	・発生地の秋冬どり栽培では抵抗	キャベツ、カリフラ
		性品種(YR品種)を栽培する。	ワー、ブロッコリー、
	定植前	・本畑は土壌消毒を行う(土壌消毒	コマツナ、カブ、ハボ
		の項参照)。	タンなどに発生する。 秋どりのキャベツで特
			に被害が大きい。
株腐病	定植前	・高畝にするなど、圃場、苗床の	病原菌はリゾクトニ
P14123713	/C111111	排水を良好にする。	ア菌であるが、本病は
	生育期	・次の薬剤のいずれかを予防的に	胞子により伝搬するこ
		散布する。	とがある。
		アミスター20フロアブル 2000倍	初夏どりの作型で、
		セイビアーフロアブル20 1000倍 モンカットフロアブル40 2000倍	
		モンカットフロナブル40 2000倍 リゾレックス水和剤	多光してすべ。
		500~1000倍	
アブラム	定植時	次の薬剤のいずれかを施用す	
シ類		る。	
		オルトラン粒剤 植穴 1~2 g/株	
		モスピラン粒剤 植穴 1g/株	
	生育期	株元 1~2 g/株 ・発生を見たら次の薬剤のいずれ	
	工月朔	かを散布する。	
		グララDF 2000~3000倍	
		オルトラン水和剤 1000~2000倍	
		ダントツ水溶剤 2000~4000倍	
		モスピラン顆粒水溶剤	
アザミウ	化 本 田	2000~4000倍 ・発生を見たら次の薬剤のいずれ	主要なアザミウマは
/ リミワ	生育期	・発生を見たら次の業剤のバッ和 かを散布する。	土姜なアリミワマは
\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \		スピノエース顆粒水和剤 5000倍	ろ。春作では5月下旬
		ディアナSC 2500~5000倍	
		ハチハチフロアブル 1000倍	植初期から増加する。
アオムシ	定植時	・次の薬剤を植穴に処理する。	老熟幼虫は薬剤がき
	4L- /~ ##n	オルトラン粒剤 植穴 1~2 g/株	
	生育期	発生を見たら次の薬剤のいずれかを散布する。	うちに駆除する。
		かど畝巾りる。 アタブロン乳剤 2000倍	
		アファーム乳剤 1000~2000倍	
		エスマルクDF* 1000~2000倍	*野菜類での登録
		オルトラン水和剤 1000~2000倍	

病害虫名	防除時期	防除方法	参考事項
コナガ	定植時	1. 次の薬剤を植穴に処理する。	発生回数が多く、春
	(育苗期)	オルトラン粒剤 植穴 1~2 g/株	から初冬まで発生加害
		2.次の薬剤のいずれかを処理す	する。
		3. 11 No. 12 No.	幼苗期には芯葉を好
		ジュリボフロアブル	んで食害し、被害が大
		ジュリボフロアブル セル苗等に灌注 <u>#1、#3</u> 200倍	きい。
		200倍	#1セル成型育苗トレイ
		プレバソンフロアブル5	1箱またはペーパーポ
		セル苗等に灌注 <u>#1</u> 、 <u>#3</u> 100倍	ット1冊(約30×
		苗地床に灌注 <u>#2、#3</u> 500倍	60cm、使用土壤約1.5
		プレバソン粒剤	TL/= 70.0L
		株元散布 #4 1 g/株	耕の育苗床では使用で
		3. コナガコン−プラス◇のいずれか	きない。
		の剤を、作物の上部に設置する。	<u>#2</u> 苗地床 1 ㎡当り 2
		ツインチューブ製剤	Lo
		100~120本/10 a	#3育苗期後半~定植当
		ロープ状製剤 20~40m/10 a	
	生育期	・発生を見たら次の薬剤のいずれ	<u>#4</u> 育苗期後半~定植時
	3.13793	かを散布する。	◇成虫の交尾阻害が目
		アファーム乳剤 1000~2000倍	的。使用に当たって
		エスマルクDF* 1000~2000倍	は、「昆虫フェロモン
		オルトラン水和剤 1000~2000倍	を用いた防除資材」の
		カスケード乳剤 2000~4000倍	項参照。
		コテツフロアブル 2000倍	抵抗性を獲得しやす
		スピノエース顆粒水和剤	いので薬剤を連用しな
		2500~5000倍 ディアナSC 2500~5000倍	い。
		ディアナSC 2500~5000倍 トルネードエースDF	•
		1000~2000倍	*野菜類での登録
		1000 -2000 旧 パダンSG水溶剤 1500倍	1771077 1 11111
		フェニックス顆粒水和剤	
		2000~4000倍	
		プレオフロアブル 1000倍	
ヨトウム	生育期	1. 卵塊で産卵され、若齢期は集団	5~6月と9~10月の
シ		でいるので見つけ次第捕殺する。	2回発生する。
		2. 発生を見たら次の薬剤のいずれ	若齢期は葉裏に集団
		かを散布する。	で生息し、表皮を残し
		アファーム乳剤 1000~2000倍	葉肉をかすり状に食害
		エスマルクDF * 1000倍 カスケード乳剤 2000~4000倍	する。 老熟幼虫は薬剤が効
		カスクート乳剤 2000~4000倍 コテツフロアブル 2000倍	
		コケフラロケフル 2000倍 スピノエース顆粒水和剤	から結球部全体に分散
		2500~5000倍	
		ノーモルト乳剤 2000倍	
		フェニックス顆粒水和剤	0124 (.04 0/0
		2000~4000倍	*野菜類での登録
		プレオフロアブル 1000倍	

病害虫名	防除時期	防除方法	参考事項
ハスモンョトウ		・広範な地域で設置可能であれば コンフューザーV <u>*1</u> を100~200本 /10a 配置する。	成虫の交尾阻害が目 的。使用に当たって
	生育期	1. 卵塊で産卵され、若齢期は集団でいるので見つけ次第捕殺する。 2. 幼虫の若齢期に次の薬剤のいずれかを散布する。	は、「昆虫フェロモン を用いた防除資材」 の項参照。 春から初冬まで数回
		オルトラン水和剤 1000~1500倍 ジェイエース水溶剤 1000~1500倍 デルフィン顆粒水和剤*2 1000倍	の発生をするが、多く なるのは8月下旬から
		ノーモルト乳剤 2000倍 フェニックス顆粒水和剤 2000~4000倍	,
		プレオフロアブル 1000倍 マッチ乳剤 3000倍	
タマナギ ンウワバ	生育期	・発生を見たら次の薬剤のいずれ かを散布する。 スピノエース顆粒水和剤	同じような被害をもたらす。
		2500~5000倍 ノーモルト乳剤 2000倍 フェニックス顆粒水和剤# 2000~4000倍	#ウワバ類での登録
	定植時	プレオフロアブル# 1000倍 ・次の薬剤のいずれかを施用す	
シ類 		る。 ダイアジノン粒剤5 土壌表面散布 6 kg/10 a フォース粒剤	
	生育期	全面土壌混和 4 kg/10 a ・被害のあった株元の土を調べ、 幼虫を捕殺する。	_
オオタバコガ	生育期	1. 広範な地域で設置可能であれば コナガコン-プラス◇を設置す る。	
		 若齢期に次の薬剤のいずれかを 散布する。 エスマルクDF* 1000倍 	結球内部に食入する ので外観から加害の有 無が判断しづらい。特
		ファルコンフロアブル 2000倍 フェニックス顆粒水和剤 2000~4000倍 プレオフロアブル 1000倍	圃場での発生状況に注 意する。
		1000 6	*野菜類での登録

			分
病害虫名	防除時期	防除方法	参考事項
所音なイ ハラガ (ダン) イク イク コオロギ	が 有苗期 一 が が が が が が が が が が も で が も で が も で も る も で も で も で も で も で も で も で も で も で も で も る も る も る も る も る も る も る も る も る も る も る る る も る も る も る も る も る も る も る も る も る も る る も る る る も る も る る る も る る る る る る る る る る る る る	1. 施設育苗の場合、サイド等の開口部には防虫ネットを用いる。施設の出入り口は常に閉めておく。土耕育苗は、防虫ネットによるトンネル栽培を行う。 2. 育苗期後半に次の薬剤のいずれかを株元処理する。ダントツ粒剤 0.5g/株プレバソン粒剤 1g/株での薬剤のいずれかを散布する。アクセルフロアブル 1000~2000倍アファームエクセラ顆粒水和剤 1000~1500倍エスマルクDF 1000~3000倍エスマルクDF 1000~3000倍エスマルクDF 2000~3000倍エスマルクDF 1000~3000倍エスマルクDF 1000~3000倍エスマルクDF 1000~3000~4000倍エスマルクDF 1000~3000~3000倍エスマルクDF 1000~3000~3000倍エスマルクDF 1000~3000~3000倍エスマルクフェブル 1000倍フェニックス顆粒水和剤 2000~4000倍アナバソンフロアブル 1000倍プレバソンフロアブル 5 2000倍・次の薬剤を散布する。デナポン5%ベイト(粒)	幼苗期に加害される と芯止まりとなる。 夏が高温乾燥のとき に多発する傾向があ り、8月上旬以降急増 する。
		株元散布 3~4kg/10 a	